# 「拾い CRAFT DX V2」機能アップガイド

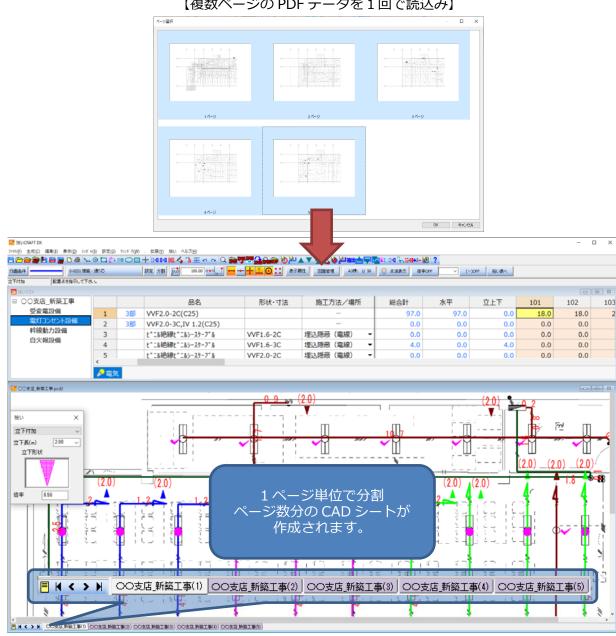
#### I. 機能アップ項目

#### 1. 複数の紙図面対応

複数枚・複数ページの紙図面(スキャナーPDF データ・ベクトル PDF データ・その他のイメージデー 夕(jpg, tif, bmp))を、CAD シート(最大 300 シート)を分けて一括で読込みできるよう対応しま した。

これにより、複数枚の図面を1つの拾い表ファイルで管理することが可能となります。

また、スキャナーPDF データと、その他のイメージデータについては、参照図として貼付けできるよう に対応したことで、設計変更時の図面の差替えが容易になる他、ファイル・メモリ容量の削減に繋がり ます。

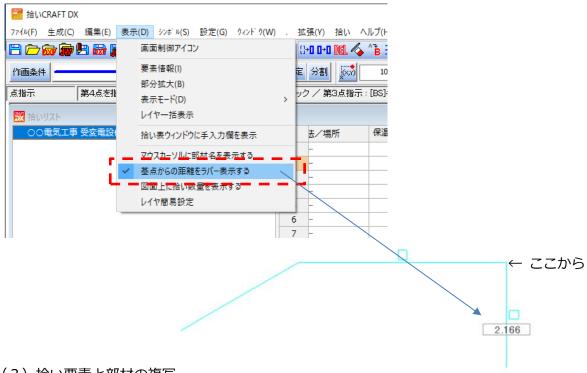


【複数ページの PDF データを1回で読込み】

#### 2. 拾い表作成機能

#### 1)拾い機能強化

- (1) 100 系統用意 拾いの系統を 40 → 100 に増やしました。
- (2) 基準点からの距離を確認しながら拾い 基準点からの距離を確認しながら拾えます。 基準点からの距離の表示は設定により、ON/OFFが変更できます。



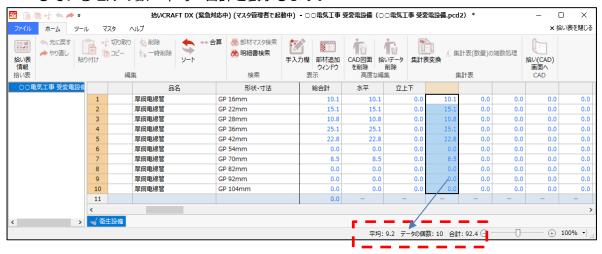
# (3)拾い要素と部材の複写

既に拾い終わった図面上の拾い要素をコピー、複写先の設備項目・シートを指定し、図面上に 複写します。指定した設備項目のシートに部材と拾い数量を複写します。

#### 2) 便利機能

(1) 平均・合計を表示

「拾い表」ウィンドウ・「拾いリスト」ウィンドウ・「集計表」ウィンドウのセル領域で、選択 しているセルの数・平均・合計を表示します。

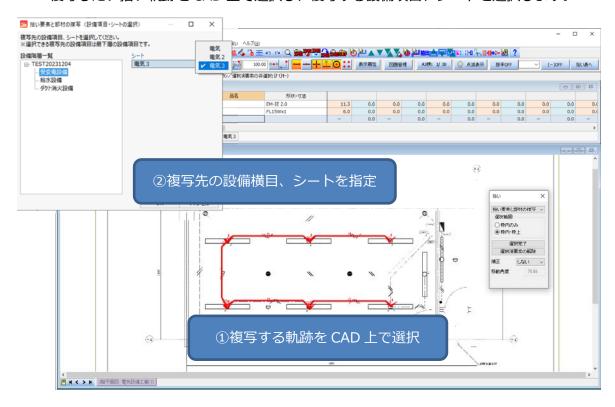


#### (2) 指定行に部材を追加

「拾い表」ウィンドウ セル領域で行を指定して部材追加を行うと、指定行の上に部材を追加 します。(設備項目の追加も同様です)

#### (3) 拾い軌跡と部材の複写

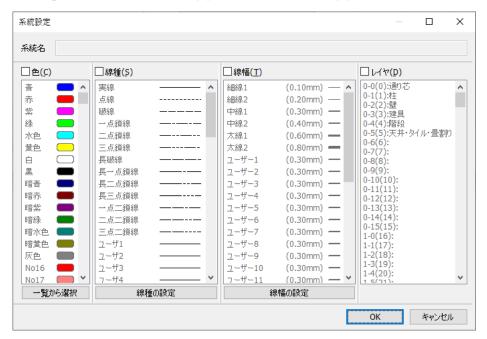
既に拾っている軌跡を部材毎、別の設備項目、シートへ複写します。 複写したい拾い軌跡を CAD 上で選択し、複写する設備項目、シートを選択します。



CAD 上で複写先の基準点をクリックすると、CAD 上に軌跡が複写されると同時に指定した設備項目、シートに部材と拾い数量が複写されます。

#### (4) 複数系統の一括設定

「拾いリスト」ウィンドウで複数の系統を選択し、一括で系統設定を行います。



# (5) 拾い数量の表示/非表示 図面上の拾い数量を表示/非表示の設定を行えます。



#### (6) 拾い表の結合

拾い表を結合します。(CAD シートも結合します)

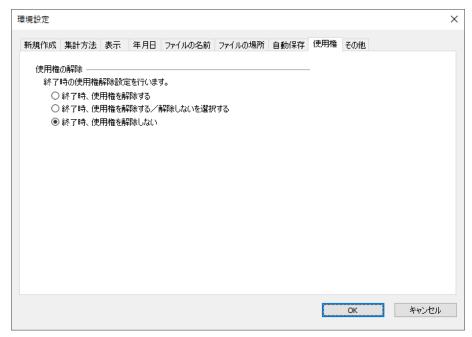


#### (7) サンプルの拾い表を用意 (V1 アップデートで先出し)

導入後、すぐに拾い作業が行えるよう、電気・空調衛生の用途に応じた部材を登録した"拾い表"を用意します。

## 3. WEB ライセンス

拾い CRAFT 終了時、使用権キーの解除が行えます。これにより、解除忘れを防ぐことができます。 終了時の設定は、以下から選択します。



## Ⅱ. 対応OS

以下のOSに対応します。

- Windows11 (64bit)
- Windows10 (64bit)

上記以外の OS に本商品はインストールできません。

#### ※本商品は、

32bit 版 OS 上では動作しません。 ARM 版 Windows では動作しません。

# Ⅲ. 動作環境

本商品を実行するのに必要な動作環境は以下の通りです。

■ CPU : Core i5 シリーズ以降の CPU

■ メモリま 8.0GB以上■ HDDま 5.0GB以上

■ USB ポート : USB プロテクタ (ハードプロテクタ) 運用の場合必須